



You can fly on your own

学校だより

2023年度(令和5年度)

=最終号=

福山市立鳳中学校

学びのあしあとを紹介します



1年生で学んだ「語り部」の講演や広島平和公園での平和学習は、2年生の修学旅行へ繋げていきます。

「第20回世界バラ会議福山大会2025」に向けてガーデンレンジャーの活動も充実させていきます。



ベンチも完成し憩いの場として活用してください。

メンバーは現在、25名です。随時、募集をしていますので教頭へ直接、申し出てください。

4月9日に入学する幕山小6年1組の児童の皆さんが作成した「史跡紹介CM」です。

次のQRコードでご視聴ください。



第15回ふくやま子ども「生きる」美術展
大賞受賞 22R 仁井 心蓮



吹奏楽部は卒業式や体育大会等学校行事の際には素晴らしい音色で行事の成功を支えてくれています。
第47回 広島県中学校吹奏楽連盟アンサンブルコンテスト
銀賞受賞 管楽3重奏管打6重奏 銅賞受賞 管打7重奏

第83回全国教育美術展

特選 門脇 遼幸(23R) 増野 千尋(13R)
入選 前田 和香(21R) 楠本 光(22R) 掛谷 巴南(11R) 木元 友基(13R)
佳作 沖野 杏和(11R)

第9回 ふくやま子ども造形教育作品展

特別賞 福山市教育長賞 関 菜々子(13R)
入選 金山 美月(23R) 柏原 美奏(11R) 林田 りら(12R)



第15回 ふくやま子ども「生きる」美術展

大賞 仁井 心蓮(22R) 奨励賞 本田 一稀(23R) 藤井 かな芽(11R)

第46回 ふくやま幼児児童生徒作品展

優秀賞 金山 美月(23R) 奨励賞 林田 りら(12R)

4月			5月		
8月	給	始業式・就任式 部活動休養日	1日	水	給
9日	火	弁当 入学式 14:00 (小学校 AM) 部活動休養日	2日	木	給
10日	水	給 新入生オリエンテーション	7日	火	給
11日	木	給 身体測定 (全校)	8日	水	給
12日	金	給	9日	木	給
15日	月	給 授業参観①(1・2・3年)・学級懇談 ・PTA 役員引継ぎ(本部役員参加) 部活休養	10日	金	給
16日	火	給 各種委員会	13日	月	給
17日	水	給 尿検査(一次検査) 歯科検診(全学年)13:30~	14日	火	給
18日	木	給 全国学力・学習状況調査(3年:国・数) 尿検査(一次検査)	15日	水	給
19日	金	給 心音心電図検査(1年 13:30~)	16日	木	なし
22日	月	給	17日	金	給
23日	火	給 生徒朝会(体育館)	20日	月	給
24日	水	給	21日	火	給
25日	木	給 体育大会リハーサル 部活動休養日	22日	水	給
26日	金	給	23日	木	給
27日	土	弁当 体育大会(雨天順延)	24日	金	給
28日	日	体育大会(予備日)	27日	月	給
29日	月	昭和の日	28日	火	給
30日	火	なし 振替休日	29日	水	給
年間計画は、4月上旬までに学校ホームページへ掲載します。			30日	木	給
			31日	金	給

2年生の修学旅行新聞(国語科)



その喜びと達成感は忘れることはありません。鳳ソーランでは、先輩として、後輩に振り付けや移動を教えるだけでなく、全体をまとめる大変さに何度もくじけそうになりました。時には仲間とぶつかることもありました。しかし、最後の鳳ソーランを成功させるため、団で協力し最高の演技を創りあげることができました。そして、最初で最後の合唱コンクール。直前での延期。またなくなるのかという不安な思いを吹き飛ばしてくれたのは、仲間の存在でした。あきらめず練習する仲間や後輩の姿にたくさん勇気付けられました。本番での美しいハーモニーはどの組も最高なものでした。あつという間に終わった一年でした。流れていく時間が私たちを成長させ、未来へと羽ばたかせてくれました。

いつも熱心に指導して下さった先生方。時には厳しく、時には優しく、私たちに言葉を注いで下さいました。また、お忙しい中私たちの進路実現のために丁寧に対応して下さいました。本当に感謝しています。自分の進路に誇りを持ち、人・時・ものを大切に次のステージで頑張ります。

在校生の皆さん。私たちについてきてくれて本当にありがとうございました。頼りない部分もあったと思います。しかし皆さんが支えて下さったおかげで行事や部活動を楽しむことができました。いまあなたのそばにいる仲間を大切にしてください。

お父さん、お母さん。今まで迷惑をかけてしまっでごめんなさい。時には素直になれずわざと冷たい態度をとったり傷つけてしまうような言葉を言ってしまったこともあります。進路のことで喧嘩したこともあります。でも、いつも私たちのことを心配して気にかけてくれたのを知っています。今、心から言います。いつも私たちにあたたかく包んでくれて、本当にありがとうございました。あなたたちの子どもに生まれて本当に良かったです。これからも迷惑をかけてしまうかもしれませんが、私たちの成長を見守ってくれたら嬉しいです。

そして、一緒に飛び立つみんなへ。長かったようで短かった中学校生活が終わりを迎えますね。みんなと一緒に授業を受け、給食を食べ、休憩時には全力で外で遊び、放課後にはたわいもない話をしながら帰ったあの日々が、最高の思い出です。もしも時間が止まるなら、もしもこの日々が続くのなら、あと少しだけ、もう少しだけこの場所でみんなと笑っていたい。そう思うことが何度もありました。しかし、時の流れは残酷なもので、ついにそれぞれの場所へと旅立っていくときがやってきてしまいました。この先、たくさんの出会いがあると思いますが、一つ一つの出会いを大切にしたいと思っています。ここにいるみんなが集まるのはもうないかもしれません。これからどんな辛いことがあってもこの楽しかった日々を思い出し、笑うことができたいなと思います。

あつという間に三年が過ぎ、最高の仲間ができました。今日こうして鳳中学校と一緒に卒業できることを誇りに思います。本当にありがとう。みんな、また会おう。

私たちはこれから胸を張って次のステージへ飛び立っていきます。最後になりましたが、今まで私たちに関わって下さったすべての人々に感謝し、皆様のご健勝とご多幸を心よりおいのりして、答辞とさせていただきます。

二〇二四年(令和六年) 三月七日 卒業生代表 尾沢遙大

卒業式「答辞」全文

厳しい寒さも和らぎ、木々のつぼみも膨らみ始める季節となりました。本日は私たち卒業生のためにこのような心のこもった式を挙げていただき、ありがとうございます。また、ご多忙の中、ご出席下さったご来賓の皆様、校長先生をはじめとする先生方、保護者の皆様、在校生の皆さん、卒業生一同心よりお礼申し上げます。

私たちは、九十九名の仲間と共に切磋琢磨しながら今日の日を迎えることができました。同じ空間、同じ時を過ごす中で得た、数えきれないほどの思い出と言葉にならないほどの思いが脳裏を駆け巡ります。

一年生。新しい制服に身を包み、のぼってきた鳳坂。とても緊張した入学式。この仲間たちと過ごす三年間に、少しの不安と大きな希望を感じました。

二年生。後輩たちに「先輩」と呼ばれ、慣れない言葉に初めは違和感を感じましたが、徐々に先輩としての自覚が芽生えていきました。一月の沖縄修学旅行では、平和について学びを深めるだけでなく、みんなと過ごした時間が一生忘れられない思い出になりました。緊張したけど楽しかった国際交流、寝るのも忘れ語り合った夜、計画を立て、班で協力しながら歩いた国際通り。学習をする中で友情を深め、たったの二泊三日の短い時間でも私たちは大きく成長できたかけがえのない時間となりました。

そして三年生。もう二度と戻れないこの瞬間を大切にしたいと思うようになりました。最後の体育大会。クラス全員で取り組んだ全員全脚は、練習を重ねていくうちに上達し、本番はどのクラスも最高タイムでゴールすることができました。